

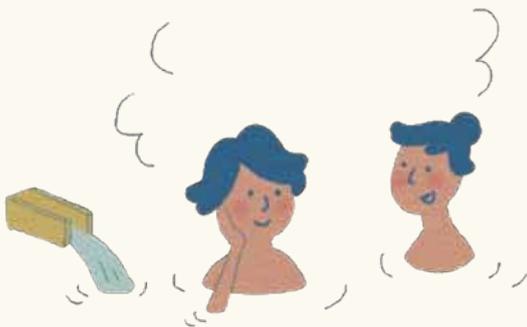
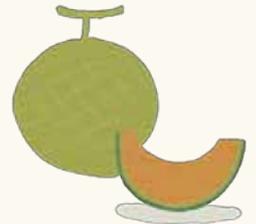


第6次

弟子屈町 総合計画

令和4年度～令和11年度

「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈



令和4年3月
北海道 弟子屈町
HOKKAIDO TESHIKAGA



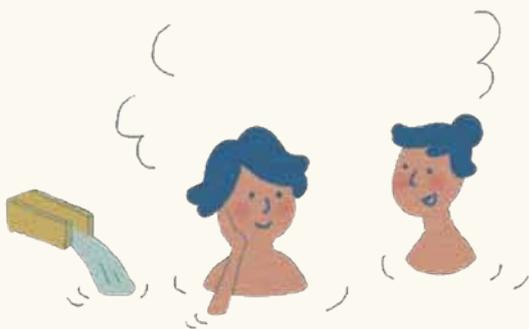


第6次

弟子屈町 総合計画

令和4年度～令和11年度

「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈



町長ごあいさつ

「『水』と『森』を守り、『人』が共に輝く、
誇りと活力あふれる 夢づくりのまち
弟子屈」を目指して



弟子屈町は明治36年に弟子屈外一村戸長役場が設置されて以来、東北海道の中心地として交通の要衝となり、農業と観光を中心とする地域として発展してきました。

また、昭和47年以来、5次にわたり総合計画を策定し、計画的なまちづくりに努めてまいりました。

近年、急速に進む少子高齢化や人口の減少、地域経済の低迷など、本町を取り巻く環境は厳しさを増しており、変化も速度も速まっています。

こうした状況の中でも、住民の皆さんが、まちに愛着や誇りを持ち、多様な価値観のもと、それぞれの夢に向かい、地域との繋がりを持ち、持続可能なまちづくりを進めることが大切です。

本町といたしましては、目指すまちの実現に向けて、その方向性を示す「道しるべ」を地域全体で共有することが必要と考え、これまで推進してきた基本的な理念を継承しつつ、まちづくりの基本理念を「全ての住民が、暮らしに満足を覚え、次代に夢を託せるまちづくり」とし、まちの将来像を「『水』と『森』を守り、『人』が共に輝く、誇りと活力あふれる 夢づくりのまち 弟子屈」とする第6次弟子屈町総合計画を策定いたしました。

本町には、摩周湖や屈斜路湖など阿寒摩周国立公園を中心とする豊かな自然環境や多くの観光資源、お年寄りから子どもたちまで安心して暮らせる生活環境など、多くのまちの誇りや可能性があります。

町民憲章

前文

わたしたちは、美しい摩周湖と、すばらしい大自然のなかに輝かしい未来をみつめる弟子屈の町民です。わたしたちは、祖先の築いた開拓の偉業をうけつぎ、責任と誇りをもって、明るく住みよい郷土を建設するために、この憲章を定めます。

本文

1. 元気で働き、産業を高め、豊かなまちをつくりましょう。
2. きまりを守り、明るく楽しいまちをつくりましょう。
3. すぐれた自然を大切に、美しい観光のまちをつくりましょう。
4. たがいになかよくたすけ合い、しあわせなまちをつくりましょう。
5. みんなで学び、文化の香り高い、平和なまちをつくりましょう。

これらは、このまちで暮らしてきた先人たちが、これまで守り、育て、残してきた財産です。そして、今の時代を生きる私たちは、この財産を受け継ぎ、さらに磨き育て、新たな価値を生み出しながら、将来を担う子や孫たち世代の未未来へと繋ぐため、暮らしの中で、「夢」や「希望」を持っていただけるようなまちづくりを進めなければなりません。

本計画の策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中での策定となり、住民の皆様へ直接意見を聞くという機会をなかなか作ることができませんでした。

そのような中であっても、限られた人数ではありましたが、まちづくり町民会議、策定審議会を開催し、町民アンケート、中高生アンケートを通じ、多くの住民の皆様の参画を得ながら原案をつくり、町議会において議決いただきました。

また、本計画には、国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の概念を取り入れるため、北海道の協力のもと、住民の方にもその重要性和まちづくりとの関連について学ぶ機会を設けることもできました。

今後は、本計画に定めた基本目標、「人と自然が共生する^{まち}夢づくり」「活力・活気・雇用を生み出す^{まち}夢づくり」「誰もが安心して暮らせる^{まち}夢づくり」「豊かな心を育て、文化を大切にする^{まち}夢づくり」「行動をする人を育てる^{まち}夢づくり」「誰でも参加することができる^{まち}夢づくり」をもとに、政策や施策を着実に推進し、まちの将来像を目指すとともに、すべての住民の皆様が「豊かさ」や「幸せ」を感じることができる町となるよう、将来にわたり、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

弟子屈町に住む我々が快適な生活を継続できるよう、地域や行政が一体となり一人ひとりが誇りと活力をもって住み続けられるよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年3月

弟子屈町長 徳永 哲雄

各種宣言

「交通安全都市宣言」 昭和37年3月13日議決

「暴力追放の町宣言」 昭和61年3月19日議決

「防犯宣言の町」 昭和62年12月21日議決

「極左暴力集団排除に関する決議」 昭和62年12月21日議決

「核兵器廃絶・平和の町」宣言に関する決議 平成13年9月25日議決

「自然の番人宣言」 平成18年4月1日議決

「森林と共生するまち」宣言 平成20年3月7日議決

「てしかがゼロカーボンシティ宣言」 令和3年12月10日

【目次】

第I編 基本構想

第1部 総論

第1章 第6次総合計画策定の趣旨	2
第1節 策定の趣旨	2
第2節 計画の位置付け	3
第3節 計画の基本姿勢	4
第2章 第6次総合計画の構成と期間	5
第1節 構成	5
第2節 期間	6
第3節 マネジメントサイクルによる行政評価と進行管理の推進	7
第3章 本町を取り巻く環境	8
第4章 まちづくりに向けての町民意向	10
第5章 本町の課題	12

第2部 基本構想

第1章 基本理念と将来像	20
第1節 まちづくりの基本姿勢	20
第2節 基本理念と将来像	21
第2章 主要指標	22
第3章 土地利用方針	23
第1節 土地利用に関する本町の計画	23
第2節 第6次弟子屈町総合計画における土地利用の方針	23
第4章 まちづくりの基本目標	25
第5章 施策の大綱	27

第Ⅱ編 前期実行計画

第1部 重点プロジェクト

第1章 重点プロジェクトの目的・位置付け	36
第1節 重点プロジェクトの目的	36
第2節 重点プロジェクトの位置付け	36
第2章 重点プロジェクトの内容と評価指標	38
①「まちづくり」プロジェクト	38
②「ひとづくり」プロジェクト	41
③「しごとづくり」プロジェクト	43
④「くらしづくり」プロジェクト	45
⑤「行財政運営」プロジェクト	47

第2部 前期実行計画

前期実行計画の施策体系	50
第1章 人と自然が共生する ^{まち} 夢づくり	55
第1節 環境保全の推進	56
1 脱炭素社会の推進	56
2 循環型社会の推進	58
3 環境保全の推進	60
4 生物多様性保全の推進	62
5 景観保全の推進と公園の充実	65
第2節 生活環境の充実と向上	68
1 防災対策と強靱化の推進	68
2 消防力の強化と救急体制の充実	70
3 防犯対策と交通安全の推進	73
4 安心できる消費生活の確保	75
5 公衆衛生の強化と充実	77
第3節 環境と共生する基盤の整備	79
1 市街地整備の推進	79
2 道路の利便性の向上	81
3 住宅環境の充実	83
4 上水道と温泉の保全	85
5 下水道整備の推進	87
6 公共交通の維持	89

第2章 活力・活気・雇用を生み出す ^{まち} づくり	91
第1節 基幹産業の更なる強化	92
1 農業生産基盤の強化	92
2 農業経営力の強化	95
3 森林の保全と適切な利活用の推進	98
4 観光まちづくりの推進	101
第2節 雇用を支える産業力の向上	105
1 商工業の活性化の推進	105
2 水産資源の保全に向けた取組の推進	108
3 人手不足の解消と企業・事業所の誘致	110
第3章 誰もが安心して暮らせる ^{まち} づくり	113
第1節 健康づくりの推進と医療の充実	114
1 健康づくりの推進	114
2 安心できる医療環境の推進	117
3 感染症対策の強化	119
第2節 子育て・福祉環境の充実	121
1 豊かに暮らせる福祉の充実	121
2 子育て支援の充実	124
3 子育て環境の充実	127
4 安心して暮らせる高齢者福祉の充実	130
5 社会参加を進める障がい者（児）福祉の充実	133
6 介護支援の充実	136
第4章 豊かな心を育て、文化を大切に ^{まち} する ^{まち} づくり	139
第1節 学び環境の充実	140
1 生きる力を育む学校教育の充実	140
2 学校教育環境の充実	143
第2節 生涯学習の推進と文化の継承	147
1 生涯学習のまちづくり	147
2 青少年の健全育成	150
3 生涯スポーツの推進	152
4 文化・芸術の継承	155
5 文化財の適切な保全と活用	158

第5章 行動する人を育てる ^{まち} 夢づくり	161
第1節 協働の推進	162
1 ネットワークづくりの推進	162
2 全ての住民が活躍できる社会の推進	165
第2節 交流の推進	168
1 互いに支え合うコミュニティの充実	168
2 地域間交流の推進と国際化対応	170
3 人権と平和を守る取組の推進	173
第6章 誰でも参加することができる ^{まち} 夢づくり	175
第1節 安定した行財政の運営	176
1 信頼される行政組織づくり	176
2 健全な財政運営の推進	179
3 自治体間連携の推進	182
第2節 住民と行政の新たな架け橋づくり	184
1 住民に役立つ広報・広聴の推進	184
2 デジタル・ガバメントの推進	186